

データを階級ごとに整理した表を何というか。

【解説】

□解説ビデオクリップ



データを階級(class)ごとに整理した表が、度数分布表(Frequency Distribution Table)である。

例：31名のテストの点数

元データ

12	45	63	69	76				45	39
	52		69	86		55	59	59	
65	82	89	73			68	74	64	55
60	40	40	35	60	76	82	79	60	65

度数分布表

階級	人数
0～10	
11～20	
21～30	
31～40	
41～50	
51～60	
61～70	
71～80	
81～90	
91～100	
計	

元データとして40個のマスに31個のデータがある。これらを右表のように整理したのが、**度数分布表**である。対応した階級にいくつのデータがあるのかを示しており、条件にあうようにクラス分けをするというイメージである。作り方で注意すべきことは以下の通りである。

1. 階級数を10～20に設定(データ数に応じて設定)
2. 階級の間隔は統一
3. 同じデータが2つの階級に入らないように
4. データ数と各階級の度数の合計が一致することを確認

Excel を利用すれば、100 個以上のデータでも簡単に整理ができる。度数分布表の作成には Frequency 関数を利用すればよいが、これは配列数式である。配列数式の入力時には、**Ctrl** キー + **Shift** キー + **Enter** キーで確定する。

【関連問題】

年 月 日

1. 上に示した度数分布表を完成させる。
2. 階級を英語で何というか。
3. Excel 関数で頻度を計算する関数は何であるか。
4. Excel で配列数式を入力する時の注意は何であるか。